

平成 29 年度 第 3 回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成 30 年 3 月 23 日（金） 14 : 30～16 : 00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】

高田 幸典, 小林 弘晁, 小林 弘志, 松本 達彦, 取釜 宏行, 中原 健次, (委員 6 名)
大田 孝士, 國藤 生美 (県教育委員会事務局 2 名)

【議事概要】

1 開会

○校長挨拶 ○会長挨拶

2 説明

- (1) 第 2 回協議内容について
- (2) 平成 29 年度の取組について
- (3) 平成 30 年度入試における県外等からの出願状況について

3 協 議

- ▶ 島外からくる生徒の志望理由は何か。
 - 中学二年生から見に来て志望した生徒もいるが、突然受検した生徒もいる。兄弟が他の全国募集をしている高校に進学したので、大崎海星高校でも同じことができると考えて受検した生徒もいる。
- ▶ 島外からどのようにして大崎海星高校のことを知ったのか。
 - 本校のホームページや SNS などから知るといふものが多い。それらをどう発信していくかが重要である。
- ▶ 大崎上島学は来年度からどのように取り組んでいくのか。
 - 大崎上島学では島のものを直接取り入れていく。1 年では權伝馬やオキウラマルシェに積極的に参加する。2 年では仕事図鑑に続いて取材等に取り組む。3 年生ではこれまでの活動を自分の言葉でしっかりと話せるように課題発見・解決学習の集大成をする。
- ▶ 生徒募集に向けて、今後何を重点化するのか。
 - グループで地元に出て行って話を聞き、課題を発見して地元へ貢献する取組を行う。また、学んだことを教科の内容にもつなげていく。このような取組が生徒の成長につながると考える。
- ▶ 今後の生徒募集について
 - 地元中学校からの進学希望者をしっかりと把握し、同時に島外へも働きかけを行っていく。大崎海星高校の良さを積極的にアピールする。



4 まとめ

5 閉 会

○会長挨拶

※本協議会は、公開としております。